

平成 25 年度辺土名小学校クラブ活動講師感謝会

- 平成 26 年 2 月 19 日（水） 14：00 於：辺土名小学校会議室
- プログラム【始めのことば（司会：教頭）、校長あいさつ、一年を振り返って（各クラブ代表 1 名）、懇親、おわりの言葉（司会）】
- 会場設営、湯茶接待 金城

一年を振り返って

三線クラブ

- ◆ 子ども達は一生懸命に取り組んでいた。
- ◆ 覚えの早い子、そうでない子、家で練習してくる子など個人差は大きい。
- ◆ 三線はすぐにできるが歌が難しいので工夫して指導していきたい。
- ◆ しまくとうばクラブとの連携も取り入れ練習をしていきたい。

しまくとうばクラブ

- ◆ 発表の機会がないので音楽発表会の挨拶やお話大会等で子ども達の出番を作りたい。

囲碁クラブ

- ◆ ルールの理解が子ども達には難しいようなので、宿題を工夫して持たせたりしたが誰もやってこなかった。
- ◆ 将棋も取り入れてみたい。
- ◆ 本年度から講師が 2 名増え、3 名体制となりとてもありがたい。

工作クラブ

- ◆ 本年度から大城正和前校長が講師に加わりとても助かった。

貝殻細工

- ◆ 貝殻が少なくなっている。
- ◆ 子ども達の自由にさせているが、何かテーマを決めて取り組む活動も必要に感じた。

生け花

- ◆ 子ども達は生け花が好きで、自分だけでも生けることができるまでに成長している。
- ◆ 花を通じ、子ども達の感性に驚くと共に、その豊かさにふれることで私自身が喜びを感じることができた。
- ◆ 世の中に出たときの一つの作法として身につけてほしいという思いから、お茶も取り入れた

大正琴クラブ

- ◆ できてから3年の比較的新しいクラブであるが、ようやく子ども達が落ち着いて楽器に向かい合うことができるようになってきた。
- ◆ 大正琴は新里先生からの寄贈であることを子ども達にも伝えてほしい。
- ◆ 子ども達のまじめな態度や、「いつも私を弾いてくれてありがとう」のシールを楽器に貼って練習に取り組む姿を見て、講師陣も元気をもらっている。
- ◆ 子ども達にとっては地域の方々とのふれあいが、教科の勉強では得られない「心を育てる」勉強になっていると思う。

民話クラブ

- ◆ パネルシアター、指人形等いろいろな工夫を取り入れて展開した。
- ◆ 音楽発表会でも工夫できた。
- ◆ 子ども達は感性豊かな子が多く、だんだんと明るい表情が多くなっていったことは講師陣の喜びでもあった。
- ◆ 聞きながらメモを取る姿をよく見かけたが、学校でも意識して取り組んでいるのかと思うくらいにどの子も記録を一生懸命にしていた。
- ◆ クラブを通して私達は学校と、そして子ども達とのつながりができた。
- ◆ 感謝会に関しても、学校側の誠意をととても感じる内容であった。

グラウンドゴルフ

- ◆ 最初はクラブを振り回すなどマナーが心配だったが、やっていく内にホールインワンも出るなど盛り上がっていった。
- ◆ 道であっても声をかける子が増えてきたことがうれしい。